



## 力をあわせて 平和憲法を守ろう

第63回大阪  
母親大会

第63回大阪母親大会が6月24日クレオ大阪中央で開催され、828人が参加しました。大阪北部地震の影響で、午前9時の分科会は中止となり、午後の全体会では石川康宏神戸女学院大学教授の記念講演がありました。内容は以下の通りです。

### ①分岐に立つ日本社会—こんな政治でいいですか？

親も子ども教育費に苦しみ、最低賃金はオーストラリアの半分で低賃金。総労働時間はドイツ1371時間、フランス1473時間であるのに日本は2221時間。労働時間の2極化により、女性パートと男性非正規急増による収入の格差と不安定化。過労死に追い込まれる若者や労働者。「働き方改革」は規制なき戦前へ逆戻り。沖縄普天間の米軍ヘリ墜落下した小学校運動場

### ②憲法の発展と日本社会の発展は

封建制度が終わって市民革命もなく「大日本帝国憲法」はできたが主権者が天皇で、国民(臣民)は労働組合も弾圧され、治安維持法で精神・学問の自由もない時代だった。女性は戦前戦後を通じて家庭に、特に戦後の経済成長と共に「戦場の男」(24時間闘いますか?)の「マシーナの通り」女は「銃後の女」として若年定年制・結婚退職制など資本家側は常に搾取対象としてエコノミックアニマル(男)と夫の「お世話」係として利用してきた。国民は「日本国憲法」でやっと主権者

### ③市民と野党の共闘で日本社会の一段の発展に向けて

日本国憲法を守り、その実現を迫ること。立憲主義の政治を求め、憲法9条改正反対。原発再稼働を認めない。森友・加計疑惑の徹底究

では5カ月間で米軍の戦闘機などのために527回の避難回数を数える。安倍内閣はアメリカと財界・大企業言いなりの政治を強行している。

上がった市民。一方戦前型の神道や制度に戻したい安倍内閣は、財界の政治支配と米軍基地国家の上

に自民党改憲案、「天皇を元首」「集会・結社・表現の自由を公益や公の秩序を害することを目的とした活動を行使し、並びにそれを目的として結社をすることは認められない」と提案。権力への批判をゆるさぬ国、権力が国民を従属させる国へ進むとして

日本国憲法を守り、その実現を迫ること。立憲主義の政治を求め、憲法9条改正反対。原発再稼働を認めない。森友・加計疑惑の徹底究

日本国憲法を守り、その実現を迫ること。立憲主義の政治を求め、憲法9条改正反対。原発再稼働を認めない。森友・加計疑惑の徹底究

日本国憲法を守り、その実現を迫ること。立憲主義の政治を求め、憲法9条改正反対。原発再稼働を認めない。森友・加計疑惑の徹底究

## 子どもの貧困対策改善を 市民団体と市会陳情

大阪市は子どもの生活実態調査をもとに「大阪子ども貧困対策推進計画」を本年3月に策定しました。しかし、その内容は市民が求めている学校給食費の無償化、中学校給食費就学援助の全額

化、就学援助の拡充要求に心えるものとはなっています。また、大阪市は大規模な学校統廃合計画をつくり、中学校チャレンジテスト、大阪市統一テスト、小学校学力経年調査などで、極度の競争

主義教育を一層進めようとしています。大阪府教は市民団体に呼びかけ、すべての子どもたちにゆきとどいた教育の実現を求める陳情書(上)を9月から始まる市議会に提出します。

本気でまわりに訴え、国会で3分の2の議席を占める改憲勢力に対して、国民の力で憲法改正を止めさせよう。市民・労働団体が

### ピーススタディー報告会

## 沖縄を思い、考え、話す

青年部は「ピーススタディー」おきなわ報告集を作成し報告会を6月9日に行いました。(以下、感想を掲載) ○平和とは…なかなか答えはみつかりませんが、自分なりに答えを探し続けて学び続けることが、未来につながると思えるように思いました。報告を共有することで新たな目を見つめやすくなる。一言で言うのは難しいなと思いましたが、未来明日と10年後)とくに希望が持てること。将来、あのと平和だったなど思うことだけは避けたい。沖縄にいた仲間が報告を聞いて自分の考えがより深まりました。 ○報告会でたくさん交流できてとてもよかったです。一番良かったのは、みんなが迷いながら発言をしたこと。効率的に、わかりやすくしゃべらないと、思っているのとは違ってしゃべるのとは、考えながら、沖縄を思いながら、解決できないものかを感じながら話せたことがよかったです。こういう場が職員室で、組合で、社会で奪われてしまふことが恐ろしいんだと思う。 ○参加した人たちの

報告を聞いたたり、読んだりして、沖縄について、平和についてこれだけ深く考えることができたこと自体がとてもいい経験、機会だと思っ

た。沖縄との物理的な距離は離れていても、沖縄のことを身近なことから、考えていくことが必要だと改めて確認しました。 ○沖縄の基地問題は「いま」自分たちが生活している日本の問題だと思えます。戦争についても、今、日本社会で起きていることも、子どもたちに伝えて考え合える授業をした

集会の最後に「私たちは大阪を壊す都構想とカシノ誘致を許しません」の特別決議を採択しました。

の無責任なツイートの学校が混乱」など、色々な問題を交わりました。

6月8日の青年部総会では、昨年度の報告や今年度の取り組みを話し合いました。交流会では、一人一人が抱えている不満を出し合いました。保護者対応に始まり、中堅と呼ばれているように、主任の仕事を「おかしな」と思っていることなど、さまざまな課題が出てきました。その中でも熱くなった話は人事評価制度。「本来の仕事と関係ないことに時間を取られている」「給料に關わる大事なもののにこんな簡単に導入されているのか」忙しい中で流れてくるものに対して疑問に思うこと、声を上げていくことが大切だと改めて感じることができました。また新しい役員も加わり、楽しい企画がスタートしています。今年度も青年部を共に盛り上げていきたいと思います。

## 専門部総会

### 女性部

女性部総会を6月23日に行いました。最初、新しい「人事評価制度」について学習をし、委員長から経過説明がありました。「目標管理制」は、①目標が数値化され、その指標となる教育活動が重視される。②目標達成できなければ、全責任は教員におしつけられる。③等の重大な問題点があることが明らかになりました。

### 事務職員部

事務職員部総会を6月9日に開催しました。職制導入による相互監視となりつつある学校間連携、不透明な事務主任任用、劣悪待遇の日額臨任、不明瞭な配置基準、事務主幹校厚遇等々、学校事務を取り巻く環境にはこれまでにない厳しいものがあります。総会では、欠員問題や人事考課、教育機器修理代の自己負担等々について、大会参加者から発言がありました。いずれも教育内容や労働条件に直結する重大な問題です。事務職員部では、若手JIMUの会、臨時主事アンケートなどに粘り強く取り組み、これらの声を集め要求実現に向け、今年度も「しぶとく、したたか、

### 青年部

6月8日の青年部総会では、昨年度の報告や今年度の取り組みを話し合いました。交流会では、一人一人が抱えている不満を出し合いました。保護者対応に始まり、中堅と呼ばれているように、主任の仕事を「おかしな」と思っていることなど、さまざまな課題が出てきました。その中でも熱くなった話は人事評価制度。「本来の仕事と関係ないことに時間を取られている」「給料に關わる大事なもののにこんな簡単に導入されているのか」忙しい中で流れてくるものに対して疑問に思うこと、声を上げていくことが大切だと改めて感じることができました。また新しい役員も加わり、楽しい企画がスタートしています。今年度も青年部を共に盛り上げていきたいと思います。

### 憲法読破学習会

第4章 国会は最高機関?  
▶7月21日(土) 10時半  
▶大阪市教・会議室

○平和について考えるよい機会となりました。みなさん、沖縄で見たこと、しっかりと子どもたちに伝えてあげてください。

総会では、権限移譲による労働条件の改善を許さない、定員増員、新人事評価制度撤回、憲法と平和を守るたたかいを強化する方針を決定しました。

討論では、「拉致問題のヒラを配布させられた」「体育軽減講師や講師が配置されない」「事務職員や養護教諭の増員を」「不妊治療に新しい施策を」「市長

大阪府教は市民団体に呼びかけ、すべての子どもたちにゆきとどいた教育の実現を求める陳情書(上)を9月から始まる市議会に提出します。



大阪府教は市民団体に呼びかけ、すべての子どもたちにゆきとどいた教育の実現を求める陳情書(上)を9月から始まる市議会に提出します。

大阪府教は市民団体に呼びかけ、すべての子どもたちにゆきとどいた教育の実現を求める陳情書(上)を9月から始まる市議会に提出します。

大阪府教は市民団体に呼びかけ、すべての子どもたちにゆきとどいた教育の実現を求める陳情書(上)を9月から始まる市議会に提出します。

大阪府教は市民団体に呼びかけ、すべての子どもたちにゆきとどいた教育の実現を求める陳情書(上)を9月から始まる市議会に提出します。

大阪府教は市民団体に呼びかけ、すべての子どもたちにゆきとどいた教育の実現を求める陳情書(上)を9月から始まる市議会に提出します。